



2011年8月報

Vol. 430

8月1日発行

発行者・横田憲子

編集者・丸尾欽造

主 題	2011 - 2012 年度 クラブ・部・区・アジア地域・国際		
ク ラ ブ 主 題	「為さねばならぬ」	会長・横田憲子	
阪 和 部 主 題	響き合い、ともに歩む	To walk together, echoing each other	部長・松本三枝子
西 日 本 区 主 題	ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献	理事・浅岡徹夫 (近江八幡)	
	“ContributetotheCommunitythroughActiveServiceswithLove”		
々 副 題	理想を目指して変革と行動		
	“Change Ourselves and Take Actions toward Our Lofty Goal”		
ア ジ ア 地 域 主 題	地域会長 Wichian Boonmapajorn (タイ)		
	“Audere est Facere To dare is to do” 「とにかくやろう- 為せばなる」		
ス ロ ー ガ ン	“Mission with Faith” 「信念をもって使命をはたそう」		
国 際 主 題	国際会長 Finn A. Pedersen (ノールウェイ)		
	“Audere est Facere To dare is to do” 「とにかくやろう- 為せばなる」		

宇陀川事故と河内ワイズ
井藤朋子ちゃんを亡くして35年

丸尾 欽造



1976年7月18日午後、野外活動(東大阪YMCAプログラム)に参加していた井藤朋子ちゃん(弥刀小4年)が、奈良県宇陀郡室生村の宇陀川で食後の水遊び中に溺死する事故が起った。これは大阪YMCA始まって

以来の水死事故で、絶対にあってはならない事故が起きてしまったのだった。このような痛ましい事故が再び起こらないよう深く反省するとともに以来毎年7月18日を「安全の日」と定め、YMCAのすべての活動について安全点検と、安全に対する啓蒙を行うことになったのは周知のとおりである。

事故当時、河内クラブは設立2年目であったが、この事故を重く受け止め、中島一郎会長を筆頭にご遺族への掩護をはじめ内外の関係者と積極的に関わり、道義的使命を果たす行動力を発揮した。中島一郎会長は、4カ月後に「宇陀川事故の反省」とする資料をまとめ、冒頭に次のような想いを述べている。「事故時点では、YMCAにおいて厳しい調査と反省がなされ、引き続いた夏季プログラムは主事総出の体勢で無事終了した。だが、このような緊張した体勢が将来とも長らく実施できるだろうか。当事者以外の人は何れこの事故を忘れて行く。(次頁に)

[今月の聖句] ルカによる福音書2章52節

「イエスはますます知恵が加わり、背たけも伸び、そして神と人から愛された」



育ち盛りの若者たちが、自然の恵みを受けて生き生きと活動する季節、次代を担う若者たちのユースアクティビティを支え、祝福しましょう

【8月納涼例会プログラム】

- 日時・8月28日(日)午後2:00~5:00
- 会場・サンホーム6階 (メン・メネット¥3000)
- **第一部** 司会: 宮本 桂子さん
- 開会点鐘: 会長・横田 憲子さん
- ワイズソング: 一同
- 聖句朗読: 加藤 寿枝さん
- 会長の時間: 会長・横田 憲子さん
- インフォメーション: 当該者
- 閉会点鐘: 副会長 宮本 桂子さん
- **第二部** 司会: 正野 忠之君
- ゲスト・ビジターご紹介: 司会者
- 誕生日お祝い: 会長・横田 憲子さん
- 食前感謝&パーティ: 新本 英二君
- ゲストスピーチ: ネメシュ・ノルベルト氏
- テーマ「Look World・東欧あれこれ」
- オークション: みなさんと共に
- 閉会の辞: 例会委員長・正野 忠之君 ●

(前頁から)眞の反省は之が生きた将来対策につながる事であり、それは無理なく継続できるものでなければならぬ。管理不十分に起因する人災的事故が起こらないように、[YMCA野外活動の体質反省]、[安全管理の科学的研究]、[リーダーの安全訓練]、このような事が実施されるであろうか？」

河内ワイズの関わりが、「安全の日」制定につながったと思うものではないが、当時の先を見た提言が、35年を経た現在も維持継続されていることは「反省」が脈々と引き継がれているものと確信している。

尚、井藤朋子さんの御霊の安らかならんことを念じつつ、当時の記録をひもとき、別掲に特集コラムを設けた。

7月例会報告

報告・宮本桂子

日時：7月21日（木） 18：30～20：30

会場：サンホーム 6階

出席者： メン 伊藤圭介、岩坂正雄、大谷美佐子、尾北 昇、加藤寿枝、佐古至弘、新本英二、正野忠之、田中惟介、中野義彦、畠平剛志、藤井敬子、丸尾欽造、宮本桂子、望月 強、芳澤伸之、横田憲子
 メネット 伊藤玲子、大藪暢子、新本力子、初田真佐子、丸尾初子、望月治子
 ビジター 松本三枝子、松岡虔一、鈴木良洋、鉄谷明、阪口千穂、東良學、吉田全孝、吉田芳子（以上大阪サウス）、今井利子（大阪なかのしま）、遠藤通寛（大阪泉北）、中井信一（奈良）以上34名

今期最初の例会は、定刻どおりに、望月メンの司会で始まった。新会長の横田メンによる開会点鐘、ワイズソング、聖句朗読、ゲストビジター紹介と続く。

【阪和部部长メッセージ】松本三枝子メン
 私がワイズに入って最初に他クラブ訪問したのが河内クラブで、はじめて来たのに暖かく迎えていただいた事を覚えています。その時、はじめて会うのに握手していただいてビックリしました。とけ込むには自分も心を開けば良いんだなということがわかりました。この時の経験で、人と人とのつながりが大事だなということがよくわかりました。

今年の主題として「響きあい、共に歩む」をあげさせていただきました。もう一つ「部長は皆の応援団」という言葉をあげさせていただきました。皆様を応援するようにしますし、また皆さんも小さなクラブを応援するように訪ねていただきたいです。皆様、是非ともクラブ間で交流を図っていただくようお願いいたします。

【会長交代式・新役員紹介】司式 松本部長



今期の所信を表明する会長・横田憲子さん

松本部長の司会のもと、新旧役員、会長交代式が行われ、横田新会長が「私たちは誠心誠意 YMCA 国際協会の役務に務めます。」と力強く宣言しました。

【横田会長挨拶】

クラブ主題として「為さねばならぬ」をあげさせていただきました。行動しなければ何も動かないということ、東日本大震災の支援で思いました。チャリティコンサート、チャリティショップの支援プロジェクトを行う予定です。皆様、ご協力をお願いいたします。色々と変更も行う予定です。会計の場所も変更しました。じゃがいも、かぼちゃ購入も北海道の方と直接交渉をはじめています。お祝いも誕生お祝いだけにしました。結婚祝いをする事によって心痛める方がいるということを感じていただきたい。今回は結婚祝いは手作りがきを送る事にしました。Yサについても新たにお手伝いを考えています。にこにこ箱を「やさしいもの」に変更しました。

【インフォメーション】

JWF 管理委員委嘱状が丸尾メンに伝達された
 ファンド事業主査より
 今年度もご協力お願いします。阪和部会を9/23金曜日南YMCAにて実施します。
 地域奉仕環境事業主査より
 他クラブの地域奉仕を参考にさせていただきたい。
 各種募金にご協力をお願いします。
 Yサ主査より
 YMCA、ユースリーダー、ワイズの3者で一体となって行動したい。ユースリーダーを育てようと行動したい。
 EMC 主査より
 今年度は退会者を出さない！という目標です。EMC 推進委員会を実施しました。
 メネット事業主査より
 無理をしないであるがまに努力したいと思います。
 事業主題「若者に夢と希望を！」、事業計画は別紙
 会計報告/藤井メン 別紙配布通りの決算です。
 予算/田中メン 3名の新入会を見込んで予算組しています。緊縮財政の予算組です。
 じゃがいも、かぼちゃ販売/望月メン
 十勝クラブからの購入を見直して、北海道から直接仕

入れる(旭川近辺の農家予定)かぼちゃは「坊ちゃんカボチャ」を検討。

正野メンLD委員の後継紹介阪口千穂さん(大阪サウス)納涼例会は全員参加でご協力をお願いします。

8/7 スペシャルオリンピック水泳のボランティア募集/丸尾メン阪和部、中西部へお願いのメール発信。活動計画表訂正/芳澤メン

- ・小委員会Cグループ正野メンが委員長
- ・年間行事予定表9月阪和部会合同メネット会
誤)19日 正)23日

サンシャイン計画/尾北メン・東北から避難された東大阪にお住まいの方3名の申し込みがありました。

ユースリーダー安全支援金にご協力をお願いします。正野さん結婚式/伊藤メン 24日に実施、準備のため14:00に集合のこと

【花束贈呈】

横田新会長より大谷直前会長、大藪メネット直前会長に花束贈呈した。

誕生日祝い、にこにこアワー、YMCAの歌と続き、定刻を少し過ぎて、新副会長 宮本メンによる 閉会点鐘で、今期最初の例会を閉じた。

7月役員会 議事録

書記:望月 強

7月28日(木) 19:00~20:30

出席者 横田・丸尾・望月・藤井・畠平・佐古・伊藤・宮本・加藤・杉村

8月例会役割分担全員 委員長 正野忠之君

- 第一部司会 宮本桂子さん
- 聖句朗読・加藤寿枝さん 食前感謝・新本英二君
- 第二部司会 正野忠之君
- 受付・会計 田中惟介君 藤井敬子さん
- 音楽担当・会計兼任

9月 プリテン原稿

- 例会報告 畠平剛志君
- 役員会報告 芳沢伸之君
- Yニュース 鈴木えみさん
- サンホームニュース 尾北 昇君
- 巻頭言 伊藤玲子メネット

《審議事項》

1. 8月納涼例会 ティーパーティ方式
会費 メン&メネット 3千円
招待者:スタッフ・リーダー 無料
食事担当 A班、会場担当B班、オークションC班
2. 9月例会 ゲスト 恵美奈様(サウス)ミャンマーの話
3. 次期阪和部長を支える役員とクラブ会長を支える役員の人選、正野君と宮本君との話し合いを尊重
4. IBC オゼルククラブよりロシア区大会のご案内があり、出席される方、希望者を募る
5. 物産販売(ジャガイモ・かぼちゃ)十勝クラブ 新しい農家(北海道)と折衝する

オークション用にテスト販売の実施する
ジャガイモ10kg入り、5kg入り・くりナンキン、坊ちゃんかぼちゃ等品種の検討

6. 会員増強のためのクラブ内のプロジェクト 検討
会長推薦:大谷君 田中君 望月君、他に熱意のある方々を推薦する。
7. チャリティコンサート (大震災の募金)委員長を正野さんとして田中さんと宮本さんのチームで進める。
東YMCA40周年とリンクして開催する 支援先は在阪の関東大震災で避難されている方々。
8. 河内クラブ第二例会日変更 第一金曜日から第一木曜日に変更

《報告事項》

1. 阪和部部会 9月23日[祝・金]
11:30~14:30 出席者募る
2. 阪和部合同メネット会 9月23日[祝・金]
10:00~11:00
3. 正野さんお祝金 1万円 承認
4. BF代表歓迎会に出席の方を募る
天王寺東映ホテル 8月 11日 18:30~20:30
5. スペシャルオリンピック水泳大会ボランティア支援 参加希望者を募集する。
6. 東日本大震災の募金のためと東北の商品を販売するためチャリティーショップを7月23日4時~6時なごみの日に合わせて1階ロビーで販売した。今後も継続してタイムリーに開催する。

《連絡事項》

1. メネット例会ご案内 和歌山クラブメネットナイト
2. 正野さんご夫婦結婚式会計報告 残金10796円をYMCAへ寄付。
3. 仙台YMCAに 東YMCAからスタッフ及びリーダー5名がボランティアとして参加される。

インドからBF代表がやってきます
阪和部・歓迎会のご案内

BF代表 Mr. P.V.Kurian
同行者 Mrs. Valsa Kurian
South India Region
日時 2011年8月11日(木)
18:30~20:30

会場 天王寺東映ホテル
会費 5,500円
ご出席希望の方は、部事務局長・東良學ワイズにお問い合わせください。 Tel 06-6672-7280

在阪中のスケジュールは次のとおりです
8月10日 関空着(11:45) 大阪市内ホテル着
大阪なかのしまクラブ例会出席
8月11日 奈良観光、夕刻から阪和部歓迎会
8月12日 午前中 大阪市内観光または休息、
新大阪 11:33 発、こだまで東広島へ

<<温故知新>> ①

「安全の日」が制定されて35年になる。東YMCAのプログラムに起因する「安全の日」の制定に、河内クラブは深い関わりがあったことを、今一度みんなで思い起こし、この日の意義を再確認したいものである。

宇陀川事故

事故の経緯とYMCAの教訓

「東大阪地区におけるYMCA活動の歩み」- 東大阪YMCA10年史- に、この事故について「大きな教訓・野外活動事故」として次のように記述されている。

『昭和47年活動開始以来5年の歩みを経た昭和51年7月18日、東大阪の野外活動プログラム7月例会(参加メンバー95名、リーダー18名、引率スタッフ3名)を、奈良県宇陀郡室生村大野の宇陀川で行っていたところ、昼食後の午後1時頃、川で「水遊び」をしていたメンバーの一人(小学4年生)が行方不明となり、直ちに付近を探したところ川底に沈んでいるのを発見引き上げ、人工呼吸などの応急処置をとるとともに病院に急送し、手当をしたが、その甲斐もなく同日午後3時24分死去(溺死)するという痛ましい事故が起きたのである。同年9月11日、東大阪市立労働会館において追悼記念大会が開かれ、聖愛教会牧師松岡虔一司式のもとに東大阪YMCA野外活動クラブの少年少女、リーダー、遺族、大阪YMCA関係者ら約70名が参列し、幼くして天国に召された少女の冥福を祈ったのである。

これは、大阪YMCA始まって以来の水死事故であり、関係者に大きなショックを与えた。特に、プログラム活動中の事故であり、絶対にあってはならない事故が起きてしまったのである。大阪YMCAに連なるすべての役員、スタッフは、このような痛ましい事故が再び起こらないよう深く反省するとともに、以後毎年7月18日を「安全を守る日」と定め、YMCAの行うすべての活動の安全点検を行うとともに、安全に対する啓蒙を全会員生徒に対して行うことになったのである。

ユースリーダー安全支援金

ご協力をお願い

この支援金は、プログラムを支え、発展させてゆく担い手であるボランティア(ユースリーダー)の安全と研鑽のために用いられます。「安全の日」のキャンペーンと併せてご協力をお願いいたします。

募金方法	1口	1000円
募金期間	7月1日～9月30日	
受付窓口	東YMCA 大阪YMCA統括本部	

この痛ましい事故が、この地域に生き続けてゆくYMCAにとって大きな教訓となり、YMCAの諸体制を新たにするために、それまで田中譲二総主事が兼任していた南YMCA館長職務の専任者として翌昭和52年に岩坂正雄主任主事が着任し、新しい人事体制として専任主事として瀬川健三を配し、新体制がスタートした。

同年7月18日、第1回「安全の日」を迎え、夜、枚岡教会において東大阪活動委員会主管による「安全の日の集い」を開催、1部礼拝、2部講演「野外活動の精神・講師 松田稔」を行い、リーダー、委員、ワイズ、スタッフら58名が参加した。また、「安全の日」のキャンペーンとして、南YMCAが主唱してポスター、豆カレンダー、カンパジを制作、全大阪YMCAの会員、生徒に配布し、安全教育の啓蒙を図った。

この安全キャンペーンのために、大阪8ワイズメンズクラブより115,000円の資金が寄せられ、以後毎年寄せられている。』

その時、河内ワイズはどのように行動したか

事故後、クラブは、次のような行動が取られている。

- 7月18日 事故発生。会長、副会長、直前会長が協議、主事のマネジメントとリーダーの主体性を尊重しつつ、協力することを申し合す。
- 7月19日 中島一郎、白石定一、遺族宅掩護へ。白石定一、宇陀川現場へ。伊藤圭介、東YMCAへ。
- 7月20日 葬儀。中島一郎、岩本弘、伊藤圭介、白石定一、望月強、倉橋孝造 が参列。
- 7月21日 東大阪YMCA活動委員会(於・南YMCA)中島一郎、白石定一、伊藤圭介が田中譲二総主事の諮問に答申。仙波主事は南YMCAで謹慎。
- 7月22日 クラブ役員会
- 7月24日 クラブ役員会
- 7月26日 河内クラブ役員会議事録を田中譲二総主事、木下清(大阪豊中)中西部長に発送。
- 7月28日 田中譲二総主事、伊藤圭介副会長宅を訪問、意見交換。
- 7月29日 木下清中西部長、田中譲二総主事を訪問、意見交換。
- 8月6日 大阪YMCAと井藤家遺族と示談解決の由。
- 8月10日 中島一郎、帰国(国際大会)翌日、田中譲二総主事を訪問、意見交換。
- 8月27日 中島一郎、田中譲二総主事あてに「仙波漸主事処遇につきお願い」の書状を送付。
- 9月1日 中島一郎、榛原警察署長に「仙波漸主事につきお願い」の要望書をクラブ33名を代表して提出。

事故を受けて、河内クラブは、7月22日、24日の両日、クラブ役員会を開催した。その議事録は、7月26日、田中譲二総主事及び木下清中西部長に送付されている。送付にあたって、中島一郎会長は、本状の主旨として、その添書に、

「既に、YMCAの専門職に於いて原因調査と将来対策は十分に検討されつつあると信じておりますが、あえて、素人であり情報不十分の我々ではあるが、違う角度からの素人の見方、考え方は、万に一つでもご参考になれば幸いであり、本状は出席者の発言を箇条書にメモしたもので、意見書または要望書でないので、回答をいただく必要はありません」と、記されている。

役員会の議事録(摘要)は次のとおりである。

【大阪河内ワイズメンズクラブ 議事録】

1. YMCAとしてのリーダー教育訓練が不足と思われる。
2. リーダー同志のすり合わせはどうか。
3. リーダーと子供たちの交流不十分ではないか？人間関係は？
4. ジュニアリーダーは管理者側員数に入るのか、被管理者人員に入るのか。この点に盲点はないか。
5. 一行事についての適正人員、多ければ良いと言うものではない。
6. YMCAに油断があったのでは。(従来大事故はなかったが小事故の連続の中に危険要素があったことへの反省)
7. 東YMCAの急成長と管理態勢のアンバランス。
8. 常に危険を上回る安全管理があると言うYMCAへの信頼感を裏切らないでほしい。
9. 東YMCAの人事について人が替るのが早すぎる。
10. 今回の件は東大阪YMCAの問題でなく大阪YMCA全体の問題。
11. 野外活動は長期的に実施すべきだ。
12. 原因が究明され、反省があり、管理態勢に十分な自信を得るまで、中止すべきでないか。
13. 夏のプログラムを中止しないようにとの朋子ちゃんの家族のことに甘え、盲従してはならない。

事故の原因と責任究明については、法の立場から、またYMCAとしても引率責任者として仙波漸主事個人も厳しい究明と反省がなされたことは何人も認めることである。思うに、仙波主事の37年間にわたる奉仕活動は、まさに珠玉のような尊いものであった。田中譲二総主事に対して、「仙波主事処遇についてお願い」を河内クラブ全員の強いお願いとして充分のご考慮をお願いした。

また、所轄警察であった榛原警察署に対しては、ワイズメンズクラブの成り立ちと、YMCAを支える立場から道義的、心情的責任を感じるとともに、若き頃の仙波さんの尊敬深い逸話を添え、その人格、経験、見識をさらに奉仕活動の中に活かすことができるよう、

クラブ33名を代表して、中島一郎が嘆願の要請に尽力された。

中島一郎の「宇陀川事故の反省」の表紙に、

再び主イエスのくだります日
召さるるおさなご み國にて
みそらの 星とかがやきつつ
主の御冠の玉とならん

YMCAとワイズの日本区が
野外活動 安全点検マニュアルを
研究作成していただくことを
念じつつ

1976年11月10日
大阪河内クラブ 中島一郎

とある。茶けたガリ版刷りの資料にあるこの精神を生かし続けて、今年も活発な活動を期待したい。参考資料：

- ・東大阪地区におけるYMCA活動の歩み
- ・宇陀川事故の反省・中島一郎著

大阪YMCA
東日本大震災・被災者支援プログラム
子どもたちの心のケアのための
サンシャインキャンプ
支援金のお願い

2011年3月11日に起きた東日本大震災は想像を絶する多大な被害を与え、未だにその全貌すら掴めない状況です。大切な家族を失われた方々、避難所生活を余儀なくされた方々など多くの人々が苦難の中にあります。ここ近畿圏においても、生活の基盤を奪われた方々が避難されている状況があります。そこで、特に困難な状況の中にあり、且つ大切なお友だちと離れ離れになってしまった子どもたちのためのこころのケアのために、この夏、大阪YMCAで実施するキャンプに被災された子どもたちを招待いたします。

東YMCAの招待キャンプ一覧

- ・日帰りディキャンプ
- ・山の1泊2日キャンプ(六甲自然だいすき)
- ・里山の2日3白キャンプ(紀泉テントキャンプ)
- ・海の2泊3日キャンプ(阿南満喫キャンプ)

詳細は 東YMCA 06-6787-3232

SUN HOME NEWS

—— 特養入居者、奈良公園を散策 ——

7月10日(日) サンホームの外出プログラムとして、奈良公園への散策に6名の入居者の方が参加、それを2名の家族の方、7名のスタッフが支える陣容で、夏のひとときを古都で過ごされた。お天気が良すぎる快晴で、日差しの強さは真夏。日陰や建物の中は、風の流れやエアコンのお陰で、無理なくプログラムが進められた。奈良国立博物館では、大小多くの仏像が展示されており、車椅子を止めて観賞されている姿は実に絵のようで、まるで対話されているような安らいだものを感じた。道すがら鹿と戯れるひとコマもあり、かわいい子どもさんを見つけては笑みを浮かべ眼差しをむけておられた。

昼食は、小奇麗なお店で茶懐石など、時間をかけて楽しんでおられた。午後は、大仏殿を訪れ、大仏様とご対面、はるか昔に初めて来た頃の記憶を辿っておられるのではと、そんな思いがした。スタッフは、終始、参加者への気配りを怠らず、スポーツ飲料などの適切な補給や団扇であおぐなど、また、体調の変化にはすかさず対応し、甲斐甲斐しいケアのもと計画されていたスケジュール通りの行程と時間でプログラムを終えた。奈良を発つ車を見送って、私の同行取材の役目を終えた。

(取材:まるおきんぞう)



大仏様を背景に記念撮影、「ハイ! チーズ」

西日本区 各部

部会日程と会場のご案内

- ▼中 部 8月28日(日) 名鉄グランドホテル
- ▼びわこ部 10月16日(日) クサツエストピアホテル
- ▼京 都 部 9月11日(日) 福知山市三段池公園体育館
- ▼阪 和 部 9月23日(祝) 大阪南YMCA
- ▼中 西 部 9月17日(土) Hクライトン新大阪
- ▼六 甲 部 10月 8日(土) 神戸市北区
しあわせの村

YMCAニュース

会館・「大掃除ディ」に
ボランティアなど70名



6月26日(日) 恒例の会館大掃除が実施された。1階から6階まで5区分に22班が構成され70名のボランティア・スタッフが、分担された掃除箇所を汗を流した。掃除に先立ち、オリエンテーションとストレッチ体操をした後、2時間以上の掃除を終えて、お昼過ぎにみんなで昼食をいただきひとときの交流をもつことができた。日ごろ手の行き届かないところも美しくなり、利用者の方々に小さなプレゼントになったことでしょう。今年も大賑わいだったが、ワイズからの参加者は、尾北館長、杉村連絡主事を含めて5名だったのは少し淋しいように感じた。写真は、掃除を終えてお弁当をいただくご年配のボランティアの方々。大変お疲れ様でした。ワイズにも遊びにきてください。

第23回 阪和部会 (第2報)

- とき : 2011年9月23日(祝・金))
 受付11時・開会11時30分
 閉会14時30分
- ところ : 大阪南YMCA 4階ホール
- テーマ : ~響きあい、共に歩む~
- プログラム : 1部 式典
 2部 会食・交流・懇談
 3部 ピアノとトーク
 佐野多由子

会費 : 4000円

尚、阪和部合同メネット会を2階ライブラリーで開催いたします。(10時~11時)

ホストクラブ
 ・ 大阪サウスワイズメンズクラブ

- ▼瀬戸山陰部 10月15日(土) 未定
- ▼西中国部 10月 1日(土) 未定
- ▼九州部 10月 2日(日) 霧島ホテル

今月の強調月間メッセージ
8月 Youth Activities
ユースと共にワイズの世界を広げましょう!

Yサ・ユース事業主任 藤川 洋

『震災支援チャリティショップ』 主催：河内クラブ



会長・横田憲子さんの提唱による東日本震災支援プログラムの一環として、「震災支援チャリティショップ」が、7月23日、サンホームでオープンした。東北地方の物産を主とした食料品や日用品などの販売するために毎月「なごみ」を支援する日に開店する。売上金は、東YMC A災害支援プログラムをはじめ、被災者のための支援に捧げられる。

第一回のキックオフ開店では、東北の地酒やワインをはじめ、喜界島のすりごまや小豆島のソーメン、外国のお菓子類なども友情出演?をいただいた。河内クラブメネットの方々の応援を得て、ホームや関係者の方などからお買い上げをいただき、ほぼ売完した。津波で壊滅した町で頑張る方々の写真パネルも展示された。次回8月は、21日に開店予定。心を集めたキャンペーンショップとして、クラブのみなさんのご協力をお願いいたします。写真は、ショップの様子です。(KM河内通信社)

Happy Birthday

- 8月 5日 藤井 中さん (獅子座)
- 8月 6日 宮本善之さん (獅子座)
- 8月 22日 中野義彦さん (獅子座)
- 8月 24日 尾北松子さん (乙女座)

8月例会にはオークションの提供品を2品
ご持参下さいますようお願いいたします

『こちら編集室』ご挨拶が遅れました。私たちがこの一年間プリテンの担当をさせていただきます。よろしくお願いたします。「安全の日」を迎えた夏の季節、その意義を覚えて、「安全の日特集」を掲載いたしました。酷暑の砌、ご自愛のうえご活動くださいますように。

横田憲子・望月 強・畠平剛志・丸尾欽造

会員数	21名
(特別メネット会員数)	1名
7月例会 会員出席者	17名
メイクアップ	1名
7月の出席率	85.7%
ゲスト・ビジター出席数	11名
メネット・コメット出席数	6名
例会出席者総数	34名
役員会出席者数	10名
7月延べ出席者	44名
ニコニコファンド7月	24,820円
同 今期累計	24,820円

2011 8 August >> 9 September スケジュール

- 8月 4日(木) ・プリテン発送
16:00~サンホーム 6階
- 8月 5日(金) ・アジアエリア大会
7日(日) 台湾・宜蘭にて
- 8月 10日(水) ・BF代表 Kurian 夫妻
関空に11:45着 休憩のあとなかのしまクラブ例会へ
- 8月 11日(木) ・BF代表 奈良観光
歓迎会・天王寺東急ホテル
18:30 ~ ¥5,500
- 8月 12日(金) ・BF代表 新大阪 11:33 東広島へ
- 8月 15日(月) ・前期区費納入締め切り
- 8月 18日(木) ・和歌山クラブ 公開例会
「メネットナイト」
会場・デサフィナード
18:30 ~ 20:30 ¥5000
問い合わせ先・和歌山クラブ
- 8月 21日(日) ・サンホーム居酒屋「なごみ」支援
・震災チャリティショップ
- 8月 25日(木) ・クラブ役員会 19:00~21:00
- 8月 27日(土) ・今井利子ワイズ受賞を祝う会
カフェ「ボンジュール」
18:00~20:00 ¥4000
申込8/10 生雲文枝さんまで
- 8月 28日(日) ・納涼8月例会 (詳細1頁)
- 9月 1日(木) ・プリテン発送
16:00~サンホーム 6階
- 9月 15日(木) ・9月第一例会 18:30~
サンホーム 6階
- 9月 17日(土) ・中西部会 Hクライトン新大阪
13:00~ 会費 ¥6000
「であいで愛」GS 河合達憲氏
- 9月 22日(木) ・クラブ役員会 19:00~21:00
- 9月 23日(祝) ・第23回阪和部会 及び
・阪和部合同メネット会
(詳細6頁参照)